

	A会場	B会場	C会場
座長	木村 友久	乾 利之	金間 大介
	知財人財育成、知財教育	先端技術、IT、データ利活用	学生発表
10:00	2A1 貝原 巳樹雄 一関高専 当り前のレベルを上げる — 知財創造教育の必修化 —	2B1 阿部 仁 IPクリエイティブオフィス 生成AIにおける知的財産についての考察	
10:20	2A2(インテンシブ) 世良 清 名古屋文理大学 知財創造教育連絡協議会の活動経過とネットワーク構築についての展望 渥美勇輝、上野翼、吉田拓也	2B2 片岡 翔太郎 株式会社マヨラボ(長岡技術科学大学) GPTをベースとする大規模言語モデルを使った特許検索手法の確立 重久直輝、森楓、溝口月斗、石川治樹、野中尋史	2C2 大原 優太 大阪工業大学 大学院知的財産研究科 知的財産を用いた海洋マイクロプラスチックの回収方法に関する研究
10:40		2B3 河野 誠也 理化学研究所ガーディアンロボットプロジェクト 大規模言語モデルに基づいた特許請求項の自動書き換え生成モデルの基礎的検討 野中尋史、吉野幸一郎	2C3 藤原 総一郎 大阪工業大学 大学院知的財産研究科 化粧品業界における知的財産戦略に関する比較研究
休憩			
座長	世良 清	上野 剛史	三村 淳一
	知財人財育成、知財教育	先端技術、IT、データ利活用	学生発表
11:10	2A4 末宗 達行 金城学院大学 知的財産法関連の判例発表会による非法学部学生の学習と成長の要因 浦田優子、小田友理恵	2B4 佐藤 寿 佐藤総合特許事務所 AIと特許分類・特許分類生成のためのプロンプト設計の最適化	2C4 香坂 泰吾 大阪工業大学 大学院知的財産研究科 インベーションに繋がるシーズが具備すべき知的財産に関する考察
11:30	2A5 木村 友久 帝京大学 共通教育センター PBL活動に潜在する知財リスク軽減を図る授業支援実践報告	2B5 乾 利之 IPNJ国際特許事務所 知財情報分析による企業活動における重要な課題についての調査検討 ～AIを利用したビジネス関連発明における解決課題の分析～	2C5 村中 さくら 金沢大学 人間社会環境研究科 創造的パフォーマンスを高めるアイデアの質と量に影響を与える要因の研究
11:50	2A6 成島 和男 宇部工業高等専門学校 高等専門学校の学科学年横断型授業における知財教育の実践例	2B6(インテンシブ) 開本 亮 大阪工業大学 3D-Aiクロスマップによるストークス類型の決定 難波英嗣、杉山典正	2C6 河野 隼司 東京大学 大学院人文社会系研究科 音楽生成AIがもたらす著作権法上の課題
12:10	2A7 柳瀬 啓史 高知市立介良小学校 「知財創造教育」を小学校現場に普及・浸透させるために XI ～自律性と協働性による学びの個別最適化～		2C7 佐々木 涼 芝浦工業大学 大学院理工学研究科 発明の同期を指標とした技術軌道分析
休憩			田中秀穂

	A会場	B会場	C会場
座長	仙石 慎太郎	長根 裕美	浅見 節子
			学生発表
13:00			2C8 前田 知輝 京都大学 大学院医学研究科 デジタルセラピューティクスの知財戦略に関する調査研究 早乙女周子、鈴木裕史
	ビジネスモデル、SDGs	知財の実証分析	バイオ、ライフサイエンス
13:20	2A9 上村 侑太郎 DIC株式会社 ESG・SDGsに関する開示と特許出願・企業業績に関する定量評価(第2報:業界比較) 野崎篤志	2B9 西村 陽一郎 中央大学 企業の知的財産活動に関する権限委譲に関する実証分析 蟹雅代	2C9 早乙女 周子 京都大学 大学院医学研究科 遺伝子検査製品の競合状況と希少疾患及び特許出願の関連についての調査研究 石井宏
		その他(知的財産の新領域)	
13:40	2A10 村谷 正之 沖電気工業株式会社 BMC(ビジネスモデルキャンパス)を用いた知財戦略の可視化	2B10 川上 成年 株式会社知財デザイン 生成AIを活用した特許データ分析について -ChatGPTによる、特許データの処理、視覚化、分析、及び、解釈-	2C10(インテンシブ) 駒谷 剛志 慶應義塾大学 欧米の薬事・試験データ保護と日本における薬機法上の再審査期間の異同及び日本の制度における問題点と将来に向けた提言
14:00	2A11 橋 雄介 福岡工業大学社会環境学部 エコリカ事件(大阪地判令和5.6.2令和2年(ワ)第10073号)	2B11 竹内 誠也 山口大学 大学院技術経営研究科 AI創作物の著作権保護に係る法政策再論 - 英国法制アプローチ等施策に係る各国比較法検討 -	
休憩			
座長	安田 和史	加藤 浩	駒谷 剛志
	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財経営	バイオ、ライフサイエンス
14:30	2A12 今村 哲也 明治大学 品種登録と地理的表示(GI)を用いた地域ブランド展開と法的課題:国内外事例に基づく考察	2B12 田中 秀穂 芝浦工業大学 アカデミアの代理人選択における請求項1文字数情報の活用 後藤大輝	2C12 小池 秀雄 日本弁理士会バイオライフサイエンス委員会 バイオDX関連のバイオベンチャーの知財戦略
14:50	2A13 神山 智美 富山大学学術研究部社会科学系(経済学部) 実効性の高い法アセスのための「縦覧」のあり方—事業者の著作権の観点から	2B13 三品 岩男 合同会社知財開発研究所 発明を多様に捉える試み～ゼムクリップを題材として～ 妹尾堅一郎、横田俊一、中村正之、横山貞彦、大橋亜沙美、小見崇之、林直哉	2C13 石埜 正穂 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会 日本版パテントリンケージの現状と課題
15:10	2A14 湯本 長伯 社会構造設計研究所 新知的財産としてのプログラム概念の整理と提案について その2 村上晶子	2B14 妹尾 堅一郎 NPO法人産学連携推進機構 「知的資源」という概念の可能性～「知は事業資源」という観点で知財を再考する～	2C14 宮尾 武孝 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会 合成生物学分野における特許戦略～米国アミリス社について～
15:30	2A15 星野 豊 筑波大学人文社会系 AIによる論文の盗用?		2C15 小上 将和 東京工業大学 環境・社会理工学院 核酸医薬品のイノベーションプロセスと知識・連携構造 仙石慎太郎